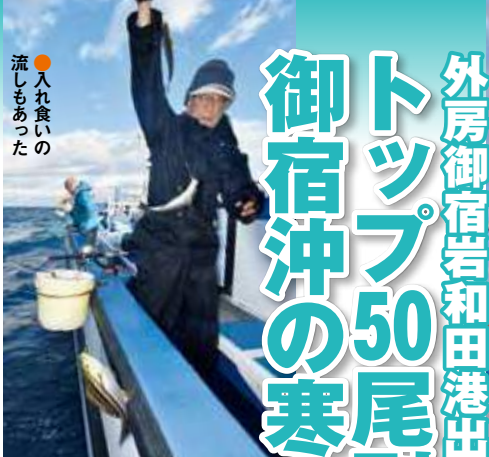




●ベテランは追い食いを狙って多点掛け連発



●入れ食いの流しもあった



●御宿沖の寒イサキは1月も釣り人の期待に応えてくれるはず



●25センチ前後がアベレージ



●今ならだれでも楽しめる

外房御宿岩和田港出船 トップ50尾到達は当たり前 御宿沖の寒イサキ絶好調

撮影●椎名義徳

▶シャープな引きを存分に味わおう



▲コマセコゴはオモリ60号のFLサイズ、船宿仕掛けはカラーバリ仕様の3本バリ

▲ハリス2号の仕掛けて2.5キロ級のシマアジが上がった



▼黄色みを帯びた個体のイサキはとりわけ脂乗り乗り



●30センチ級はお刺身で!

▼釣り場は御宿沖の水深15~30メートル前後



手堅く数釣りを楽しみたい向きにイチ推しの釣り物が外房御宿沖の寒イサキ。今冬はトップが規定数の50尾に楽らく到達する高位安定な釣況が続いている。

12月中旬、御宿岩和田港・義丸での取材日は、御宿沖を中心に流して海面から10~20メートル前後のタナを狙い、20~30センチ級がダブル、トリプルで上がる好模様。評判どおりの安定した食いでほぼ全員が50尾をクリアする良い日となった。

ほどよく脂が乗った寒イサキは食味も満点。刺身、塩焼き、フライなど多彩な料理で味わいたい。

(詳細は54ページ参照)

寒鰯魚

●外房御宿岩和田港・義丸 木原 義一船長

